



オトナのふるさと学習

# 月刊このへんだいすき

令和2年  
4月号

作 セルジュ・タカハシ

記録や形には残らず、日々失われていく地域の記憶  
いまさら人に聞けない「このへん」限定のジャンゴな話題あれこれ  
ずっと「このへん」なあなたも、最近「このへん」なあなたも、  
読めばたちまち、「このへんだいすき」に



## 駅の発車メロディに涙する 行く人、来る人も大注目！ アナウンスで気がついた 「このへん」な地名の読み方。

発車  
メロディ

駅ごとに決められた発車メロディは、  
味気ないベルに代わって、ご当地に  
ゆかりの曲が選ばれるようになった。  
無人駅や、冬に閉まる駅にはない。

アナウンス

地方の駅ではわりと録音で流れるが、  
都会のターミナル駅では駅員が行う。  
美声の駅員にファンのお客が付いて  
異動する時は送別会も開かれるとか。

地名の  
読み方

駅の名前を読み上げるアクセントは、  
それが本当に正しい読み方なのか、  
ただ単に方言なのか気がかかる。  
それがどうしたと言われても困るが、

四月は旅立ちの季節。  
年度をまたぐこの時期は駅に  
足を向けることも増えそうです。  
久しぶりに行く今どきの駅は  
ずいぶんきれいで、発車ベルも  
当地ゆかりの発車メロディです。  
橋手駅の発車メロディは、在住した  
石坂洋次郎原作の国民的映画  
あの「青い山脈」の主題歌です。  
旅立ちの決意と涙にピッタリの  
どこか昭和の青春を感じさせる  
曲調ですが、発メロにアレンジ  
したのは、去年成人式を迎えた  
地元ミュージシャン。しかも  
高校生の時の作品だとか。  
橋手駅への到着を知らせる、  
「よこてー、よこてー」というア  
ナウンスは、橋手という地名の  
由来に忠実なアクセントです。  
横に広がった土手「横土手」が  
縮まったものという説をとれば、  
サイドスローの駅「橋手投げ」  
のアクセントが正確なのです。  
地名に忠実に読んでいるのが、  
田舎井で読んでいただけなのか  
はわかりませんが、駅で流れる  
「よこてー」の声は、今まさに  
ここが橋手だと伝える正統派の  
読み方に思えてきます。

POINT

旅立ちの季節を迎えると、駅の発車メロディにも心が揺れる。  
「このへん」の駅ならではのアナウンスに、もの思う春の訪れ。

